

東日本大震災を経験した学生による写真展

「僕らが、写真でできること。」

開催日：2014年5月31日（土）～6月13日（金）

東京工芸大学（所在地：東京都中野区）では、宮城県出身で東日本大震災の経験者である写真学科の学生、武川健太による写真展「僕らが、写真でできること。」を開催します。

鉄道写真家を目指して写真撮影に取り組んでいた武川は、高校時代に東日本大震災を経験しました。その日から、写真に対する気持ちが一変したと言います。被災地の状況を目の前にして、撮影して良いのか、カメラを向けることを迷い、撮ることに罪悪感を覚えました。しかし、「写真の本質は忠実に残すこと」との考えから撮影を続けました。3年を経てようやく発表する気持ちの整理がつき、2014年3月から4月にかけて東京工芸大学厚木キャンパス内で展示したところ、学内外から大きな反響がありました。

東日本大震災を風化させないために、より多くの人に見てもらえるよう、改めて中野キャンパスでも発表することを決めました。あの日からの3年間の記録を展示します（約20点）。

開催概要

会場	東京工芸大学 中野キャンパス 〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5 TEL：03-3372-1321 ※学外の方もご覧いただけます。	
日時	2014年5月31日（土）～6月13日（金） 9:00～20:00（最終日は18:00まで）	※会期中無休 ※入場無料



【本リリースに関するお問い合わせ先】

東京工芸大学 広報課
担当：林

電話：046-242-9600 / FAX 046-242-9638
e-mail：university.pr@office.t-kougei.ac.jp